

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公開番号】特開 2019-166090 (P2019-166090A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2018-56303 (P2018-56303)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 23 日 (2021.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被収容物を収容し所定の枠部材に対して相対変位可能に構成される収容体を備えた遊技機において、

前記被収容物に配設され操作可能に構成される操作手段と、

その操作手段の操作に関する情報を遊技機前面側へ向けて報知可能とされ遊技機前面側に配設される報知手段と、

第 1 の電氣的接続線により前記被収容物に接続され前記報知手段を制御する制御手段と

、

第 2 の電氣的接続線により前記被収容物に接続される電源手段と、

前記操作手段の配設位置に対応して形成される形成部と、を備え、

前記被収容物には、前記第 1 の電氣的接続線と、前記第 2 の電氣的接続線と、1 又は複数の他の電氣的接続線とが接続され、

前記電氣的接続線の内の少なくとも前記第 1 の電氣的接続線および前記第 2 の電氣的接続線が前記被収容物に接続され、少なくとも 1 の前記他の電氣的接続線が非接続とされた状態において、前記操作手段の操作に関する情報が報知可能に構成され、

前記第 1 の電氣的接続線および前記第 2 の電氣的接続線は、遊技機背面側から前記被収容物に接続され、

前記他の電氣的接続線は、前記収容体が遊技機背面側に配設された状態において前記被収容物から取り外し可能とされ、

前記操作手段は、前記操作手段の操作方向と反対側における前記形成部の端部よりも前記操作手段の操作方向側に操作可能に構成され、

前記収容体は、前記遊技機の前面視において前記所定の枠部材に前記操作手段が重ならない位置まで前記所定の枠部材に対して相対変位可能とされることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

被收容物を收容する收容体を備えた遊技機が知られている（特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０１５－２０５０２９号公報

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、被收容物に配設された操作手段の操作について改良の余地があった。本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものである、操作手段を好適に操作できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

この目的を達成するために請求項１記載の遊技機は、被收容物を收容し所定の枠部材に対して相対変位可能に構成される收容体を備えたものであり、前記被收容物に配設され操作可能に構成される操作手段と、その操作手段の操作に関する情報を遊技機前面側へ向けて報知可能とされ遊技機前面側に配設される報知手段と、第１の電氣的接続線により前記被收容物に接続され前記報知手段を制御する制御手段と、第２の電氣的接続線により前記被收容物に接続される電源手段と、前記操作手段の配設位置に対応して形成される形成部と、を備え、前記被收容物には、前記第１の電氣的接続線と、前記第２の電氣的接続線と、１又は複数の他の電氣的接続線とが接続され、前記電氣的接続線の内の少なくとも前記第１の電氣的接続線および前記第２の電氣的接続線が前記被收容物に接続され、少なくとも１の前記他の電氣的接続線が非接続とされた状態において、前記操作手段の操作に関する情報が報知可能に構成され、前記第１の電氣的接続線および前記第２の電氣的接続線は、遊技機背面側から前記被收容物に接続され、前記他の電氣的接続線は、前記收容体が遊技機背面側に配設された状態において前記被收容物から取り外し可能とされ、前記操作手段は、前記操作手段の操作方向と反対側における前記形成部の端部よりも前記操作手段の操作方向側に操作可能に構成され、前記收容体は、前記遊技機の前面視において前記所定の枠部材に前記操作手段が重ならない位置まで前記所定の枠部材に対して相対変位可能とされる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の遊技機によれば、操作手段を好適に操作できる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1712

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1712】

遊技機 A1 から A11、B1 から B8、C1 から C10、D1 から D8、E1 から E6、F1 から F10、G0 から G5、H1 から H6、I0 から I3、J0 から J5、K1 から K10、L0、M1 から M19、N1 から N11、O1 から O8、P1 から P5、Q1 から Q4 及び R1 から R4 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 X3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

待機位置から液晶表示領域の前方に下降変位する可動役物（変位手段）を備える遊技機がある（例えば、特許文献1：特開2015-231434号公報）。

しかしながら、上述した従来の遊技機では、変位手段の配置固定および解除の観点で改良の余地があるという問題点があった。本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、変位手段の配置固定および解除を良好とすることができる遊技機を提供することを目的とする。

<手段>

この目的を達成するために技術的思想1の遊技機は、変位手段と、その変位手段の変位を制限可能に構成される制限手段とを備え、その制限手段は、前記変位手段に作用可能な第1状態と、前記変位手段に作用不能な第2状態とで状態変化可能に構成され、前記第1状態において、変位手段の所定方向の移動を抑制するよう構成される。

技術的思想2の遊技機は、技術的思想1記載の遊技機において、前記制限手段は、非通電時において、前記第1状態と前記第2状態とで状態変化可能に構成される。

技術的思想 3 の遊技機は、技術的思想 1 又は 2 に記載の遊技機において、前記制限手段の操作部を所定方向に付勢する付勢手段を備え、前記制限手段は、前記操作部が基準位置から前記所定方向の反対側へ所定量変位することに伴い状態変化するように構成され、前記操作部は、前記付勢手段の付勢力により前記基準位置から前記所定方向へ離れるように変位可能とされ、前記第 2 状態において前記基準位置から前記所定方向へ離れた離間位置に配置される。

< 効果 >

技術的思想 1 記載の遊技機によれば、変位手段の配置固定および解除を良好とすることができる。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、通電することなく変位手段の配置固定および解除を良好とすることができる。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 又は 2 に記載の遊技機の奏する効果に加え、変位手段の配置固定および解除を更に良好とすることができる。

< 符号 >

<u>1 0</u>	<u>パチンコ機（遊技機）</u>
<u>1 3</u>	<u>遊技盤（領域構成手段の一部）</u>
<u>1 8</u>	<u>ヒンジ（支持軸の一部）</u>
<u>1 9</u>	<u>ヒンジ（支持軸の一部）</u>
<u>6 5 a</u>	<u>特定入賞口（利益付与手段の一部）</u>
<u>8 1</u>	<u>第 3 図柄表示装置（注目手段の一部、表示手段）</u>
<u>8 6</u>	<u>センターフレーム（枠手段）</u>
<u>1 5 0</u>	<u>球流下ユニット（流下手段の一部）</u>
<u>1 5 2</u>	<u>第 1 受入流路（第 1 構成部、第 2 構成部）</u>
<u>1 5 3</u>	<u>第 2 受入流路部材（第 2 構成部）</u>
<u>1 5 4</u>	<u>突条部（減速手段の一部）</u>
<u>1 6 1</u>	<u>導光板（注目手段の一部）</u>
<u>1 6 6</u>	<u>横置き基板ユニット（所定基板）</u>
<u>1 7 0</u>	<u>装飾手段（被配置手段）</u>
<u>1 7 1 a</u>	<u>横長溝部（低透過手段）</u>
<u>1 7 1 b</u>	<u>反射形状部（方向変化手段）</u>
<u>1 8 0</u>	<u>変位規制装置（制限手段）</u>
<u>1 8 1</u>	<u>当接部材（案内手段の一部）</u>
<u>1 8 1 b</u>	<u>筒状保持部（案内手段の一部）</u>
<u>1 8 3</u>	<u>操作部材（操作部）</u>
<u>1 8 3 f</u>	<u>係合部</u>
<u>1 8 4</u>	<u>コイルスプリング（付勢手段）</u>
<u>2 2 1</u>	<u>M P U（防止報知手段）</u>
<u>3 1 0</u>	<u>区画部材（補助手段の一部、案内手段、箱状手段）</u>
<u>3 1 2</u>	<u>湾曲板部（第 1 案内部）</u>
<u>3 1 4</u>	<u>背面区画下部（第 2 案内部）</u>
<u>3 1 5</u>	<u>異形貫通部（開放部）</u>
<u>3 2 0</u>	<u>粒状部材（変位手段の一部、配置手段の一部）</u>
<u>3 6 2</u>	<u>軸部（規制部）</u>
<u>4 1 0</u>	<u>直動部材（変位手段の一部、第 2 部材）</u>
<u>4 1 3</u>	<u>台形突設部（第 2 当接部）</u>
<u>4 1 4</u>	<u>突条部（第 2 対象部）</u>
<u>4 2 0</u>	<u>衝突部材（作用手段の一部、当接手段、第 1 手段）</u>
<u>4 2 4</u>	<u>緩衝部材（第 2 当接部）</u>
<u>4 3 0</u>	<u>当接部材（変位手段の一部、第 1 部材、規制手段）</u>
<u>4 3 2</u>	<u>突設部（第 1 対象部）</u>

<u>4 4 0</u>	<u>前側伝達部材（伝達手段の一部）</u>
<u>4 4 2</u>	<u>溝形成部（第2伝達部、判別関与手段）</u>
<u>4 4 6</u>	<u>伝達突部（第1伝達部、当接部）</u>
<u>4 7 0</u>	<u>伝達アーム部材（伝達手段）</u>
<u>4 8 0</u>	<u>蓋部材（作用手段の一部、当接手段、進退手段）</u>
<u>4 8 2</u>	<u>張出部（代表先端部）</u>
<u>4 8 9 a</u>	<u>第1当接面（当接面）</u>
<u>4 8 9 b</u>	<u>第2当接面（当接面）</u>
<u>4 8 9 c</u>	<u>第3当接面（当接面）</u>
<u>5 1 0</u>	<u>背面ケース（領域構成手段の一部）</u>
<u>6 3 0</u>	<u>下アーム部材（作用手段の一部）</u>
<u>6 3 3</u>	<u>支持孔（主支持手段）</u>
<u>6 3 4</u>	<u>円弧状孔（補助支持手段、案内手段）</u>
<u>7 0 0</u>	<u>演出部材（変位手段）</u>
<u>7 3 0</u>	<u>回転板（負荷発生手段、変位発生手段）</u>
<u>7 4 0</u>	<u>伸縮変位部材（第1部材の一部、第2部材の一部）</u>
<u>7 4 3 b</u>	<u>第1被案内突部（第1被負荷部）</u>
<u>7 4 4 b</u>	<u>第2被案内突部（第2被負荷部）</u>
<u>7 6 0</u>	<u>遮蔽意匠部材（第1部材の一部、第2部材の一部）</u>
<u>8 2 0</u>	<u>縦スライド部材（変位手段の一部）</u>
<u>8 4 0</u>	<u>横スライド部材（変位手段の一部）</u>
<u>8 7 0</u>	<u>長尺アーム部材（電気配線変位手段）</u>
<u>8 8 2 a</u>	<u>壁部（停留手段の一部）</u>
<u>8 8 6</u>	<u>案内凹部（対応変化手段）</u>
<u>8 8 7</u>	<u>円柱突設部（停留手段の一部）</u>
<u>D K 2</u>	<u>電気配線</u>
<u>D K 2 b</u>	<u>下側巻き部（第2所定部）</u>
<u>L M 1</u>	<u>中間流路（流下手段の一部、第1構成部）</u>
<u>M T 1</u>	<u>駆動モータ（駆動手段）</u>
<u>I E 1</u>	<u>内部空間（範囲）</u>
<u>S C 4</u>	<u>検出センサ（検出手段）</u>
<u>S P 1</u>	<u>コイルスプリング（負荷発生手段の一部、付勢手段）</u>
<u>A 1 0 , A 3 0 1 0 , A 4 0 1 0</u>	<u>パチンコ機（遊技機）</u>
<u>1 1</u>	<u>外枠</u>
<u>1 2</u>	<u>内枠（ベース体）</u>
<u>1 8</u>	<u>ヒンジ（回転軸）</u>
<u>A 1 0 0 , A 2 1 0 0 , A 3 1 0 0 , A 4 1 0 0</u>	<u>基板ボックス（収容体）</u>
<u>A 1 1 0</u>	<u>主制御装置（対象物）</u>
<u>A 1 1 9</u>	<u>プリント基板（対象物、制御基板）</u>
<u>A 1 2 0</u>	<u>スイッチ装置（操作手段）</u>
<u>A 1 2 2</u>	<u>操作部（操作子）</u>
<u>A 1 2 3 b</u>	<u>突部（第1面）</u>
<u>A 1 3 0</u>	<u>キー装置（操作手段）</u>
<u>A 1 3 3 b</u>	<u>突部（受入部）</u>
<u>A 1 3 3 c</u>	<u>端部（第1面）</u>
<u>A 1 4 0</u>	<u>鍵（操作子）</u>
<u>A 2 0 0 , A 3 2 0 0</u>	<u>ボックスカバー（収容体）</u>
<u>A 2 0 3</u>	<u>下壁部（立設壁）</u>
<u>A 2 1 0</u>	<u>操作用壁部（対向部）</u>
<u>A 2 1 1</u>	<u>第1突条（突条）</u>

A 2 1 2
A 2 2 0
A 2 3 0
A 2 4 0
A 2 5 0
A 2 6 0
A 2 7 0 , A 2 2 7 0
A 2 7 1
A 2 7 1 a
A 2 7 1 b
A 2 7 2 , A 2 2 7 2
A 2 7 2 a
A 2 7 2 b
A 2 2 7 3
A 2 8 0 , A 2 9 0
A 2 8 0 a , A 2 9 0 a
A 2 8 1 , A 2 9 1
A 2 8 2 , A 2 9 2
A 2 8 3 , A 2 9 3
A 2 8 4
A 3 0 0
A 4 1 0 , A 4 4 1 0

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1 7 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1 7 1 3】

1 0
8 1
1 1 3
1 1 5
 1 2
2 2 6
A 1 0 0 , A 2 1 0 0 , A 3 1 0 0
A 1 1 0
A 1 2 0
A 2 5 1

第 2 突条（突条）

第 1 接続壁部（接続面）

第 2 接続壁部（接続面、他の接続面）

第 3 接続壁部（接続面、他の接続面）

開口

開口

被覆部

周壁部（被覆部）

基部（被覆部）

突部（膨出部）

端面壁部（被覆部、対向部）

円環部（対向部）

角形部（対向部）

突条（突部）

立設壁

テーパ面

第 1 立設壁（立設壁）

第 2 立設壁（立設壁）

第 3 立設壁（立設壁）

第 4 立設壁（立設壁）

ボックススペース（収容体）

回転軸

パチンコ機（遊技機）

第 3 図柄表示装置（報知手段）

音声ランプ基板（制御手段）

電源装置（電源手段）

内枠（所定の枠部材）

音声出力装置（報知手段）

基板ボックス（収容体）

主制御装置（被収容物）

スイッチ装置（操作手段）

ガイド壁（形成部）